

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		060102010500		事業の種類	4
年度	23	事務事業名	ホームページ事業	予算事業名	重要度
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画管理部企画広報課
施策名(中)		情報提供の充実を図る		担当課長	松尾 次郎
取組み事項		情報発信力を強化する		実施計画への記載	有
実施計画事業名		ホームページリニューアル(70周年)		主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市ホームページへアクセスする人			
	誰(何)を対象として	相生市ホームページへアクセスする人			
	意図(どのような状態にしたいのか)	情報発信の重要な媒体として、全ての課から情報を提供、更新できるような環境を構築し、市の業務や手続方法、行事案内等アクセスした人が知りたい情報をいち早く提供する。			
	事業の全体年度	事業着手年度	(年度)	事業完了予定年度	(年度)

2 事業の概要 Do

実施の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・平成11年10月 ホームページ開設 ・平成14年10月 ホームページ改定 ・平成16年10月 ホームページリニューアル、サーバを内部設定 				
活動実績	項目	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度計画
	ホームページ更新件数	件	396	429	408	450
	アクセス件数	件	314,787	309,440	336,251	337,200

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		21年度決算	22年度決算	前年比	23年度決算	前年比	24年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.025	0.026	104	0.024	92	0.026	108	
	参事以下職員	0.231	0.231	100	0.220	95	0.660	300	
	臨時職員	0.240	0.240	100	0.300	125	0.280	93	
支出内訳	人件費	2,645,759	2,671,084	101	2,756,384	103	6,044,260	219	
	事業費	54,075	54,075	100	0	0	9,000,000	-	
	合計	2,699,834	2,725,159	101	2,756,384	101	15,044,260	546	
財源内訳	国庫支出金			-	0	-	0	-	
	県支出金			-	0	-	0	-	
	市債			-	0	-	0	-	
	その他	854,000	842,000	99	711,000	84	600,000	84	
	一般財源	1,845,834	1,883,159	102	2,045,384	109	14,444,260	706	
合計	2,699,834	2,725,159	101	2,756,384	101	15,044,260	546		

※ 事業の進捗状況

項目		21年度	22年度	23年度	24年度	
全体進捗率	事業費累計					
	進捗率					

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ホームページへのアクセス件数(1月あたり)							
指標説明(式)		年間アクセス数÷12 平成18年1月16日アクセスカウンター設置(17年度実績は1月~3月平均値)							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
件	目標	15,000	26,666	177.8	27,000	101.3	28,100	104.1	
	実績	26,232	25,787	98.3	28,021	108.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		1アクセスに要する経費							
指標説明(式)		事業費(人件費含む)÷年間アクセス数							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-	9	-	45	500.0	
	実績	9	10	111.1	8	80.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(23年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	情報提供、情報公開の手段として重要である。	4
	市民ニーズ	より一層の内容の充実が求められる。	
有効性	成果目標(改善)達成度	外部サーバーから内部サーバーへ移行し、職員での更新が可能となった。	4
	市民サービス	職員が作成・更新することにより、市民のニーズに迅速に対応することが可能となった。	
効率性	コストの節減	内部サーバーへの移行が完了し、委託料、人件費ともに節減された。しかし、今後計画的な機器の更新が必要になる。	3
	手段の最適性	市民サービスの向上、コストの削減が図られたが、セキュリティに対する対策が今まで以上に必要となる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成24年度にリニューアルとCMSを導入すべく、仕様書等を作成し業者選定(プロポーザル)の準備を行った。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	デザインに統一性がなく、見やすいページになっておらずウェブアクセシビリティに準拠していない。 また、災害時等に継続して情報提供できるシステム構成となっていない。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた24年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	CMSを導入し、特殊な知識を要せず誰が作成しても統一的で、ウェブアクセシビリティに準拠したページが作成できるようにする。 また、データセンターで運用することにより、緊急時や災害時でも安全に継続して情報提供できる体制を準備する。

配点	32.5
総合評価	27